

～クラウドとAI時代に備えた、新たな情報管理のあり方とシステム連携の仕組みについて考える～

データ活用で進める業務連携

☆こんな方におすすめします！

- ▶ 自社の業務を「見える化」し、部門間の情報の壁を解消したい方
- ▶ 社外パートナー（顧客・サプライヤー）とのデータ共有による、サプライチェーン全体の効率化を目指す方
- ▶ 既存のシステムに業務データが分散し、データの加工や再入力に手間と時間が掛かっていて効率化したい方

受講料／人

3,300円
(税込)

コース番号	D-3
日 程	6月16日(火)
推奨対象者	中堅層、管理者層 ※事業主からの指示を受けた在職者の方に限ります。
会 場	ポリテクセンター兵庫 尼崎市武庫豊町3-1-50
時間・定員	時間：9：30～16：30（6時間） 定員：15名（最小遂行人数6名）
申込締切	6月2日(火)

☆コースのねらい
所有するデータを経営資源として管理し、活用することで、社内外の業務の連携を強化できることを理解する。

講 師

松井 淳(まつい じゅん) 氏

実施機関：株式会社日本能率協会コンサルティング

(講師プロフィール)

日本HP(株)などのIT企業でマーケティング、営業、コンサルティング、執行役員などを経て、2019年(株)エムツーオーを設立し代表取締役に就任。中小企業診断士・行政書士。中小企業の経営コンサルティングと製造業を中心とした大企業の生産システムや、中小企業の業務システムの導入コンサルティングを得意とする。IT・DX活用の講演実績多数。

(講師から一言)

最近では、安価で使い勝手が良く、中小企業でも活用できるデータ管理の仕組みが広がっています。その一方で、スムーズにシステムを導入活用するには、基本的なデジタルデータに関する基礎知識も依然重要です。本講座ではそれらのポイントを押さえて解説します。

主な内容

- ◆データ用の基本
 - 1 データと情報の違い
 - 2 欲しい情報を得るためのデータ選別
 - 3 データ活用のために必要なルール
 - 4 データの種類と型、入力のルール
- ◆データマネジメント
 - 1 データの品質管理
 - 2 データ管理のための統制
 - 3 データの収集と蓄積
 - 4 データの共有と連携
- ◆データ活用と業務の連携
 - 1 社内データの統合と管理
 - 2 IT技術を活用(IoT、クラウド、ビッグデータ)したデータ活用
 - 3 データ活用による業務連携事例
- ◆演習 項目に応じて演習を行います。
※状況に合わせて内容を変更する場合がございます。

-申込方法- 必要事項をご記入の上、メール：hyogo-seisan@jeed.go.jp または FAX：06-6431-7285 までお送りください。

主催：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部

ポリテクセンター兵庫 生産性センター業務課

お問い合わせ／TEL：06-6431-8205 E-Mail：hyogo-seisan@jeed.go.jp

